

第65巻ゴルフ名言・格言集

ゴルフとパークゴルフは、止まっているボールをクラブで打つという点ではほとんど同じスポーツといって良い。パークゴルフの歴史はたかだか30年だが、ゴルフの歴史は古く現在のゴルフゲームに近い形態は1300年代にオランダで発祥しスコットランドに後日渡り発展したそうである。この巻では、日本のプロゴルファーのごく1部であるが、名言・格言を紹介しパークゴルフを考える上での参考になればと思いまとめてみた。(パークゴルフに関係のあると思われるもののみ)

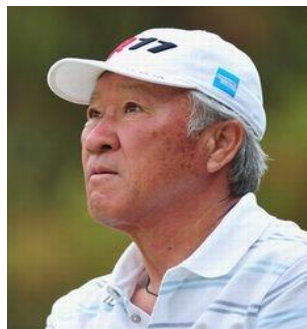
★坂田信弘(プロゴルファー・ビックコミックオリジナル漫画「風の大地」原作者)



写真はYahoo検索画像より

- 1、「恐怖から逃げる『逃げゴルフ』では、いつまでも弱き心のゴルフ 弱き心のゴルフを捨て強き心のゴルフに変えよ！」……風の大地より
- 2、「年をとってくると分かります。単純に生きることがどれほど難しいことか。そして単純に生きることがどれほど勇気を必要とすることか。そして単純に生きることがどれほど力強いものかということが」……風の大地より
- 3、「日本では心・技・体というけれども、本当は体・技・心なんです。まず体から始まって技に行き、最後が心。(日本のスポーツマンの場合)心から入るから、駄目なんだ」……風の大地より
- 4、「ゴルフの練習をするとき、大人は結果のために練習する。こんどのコンペでいい成績を出したいと思って練習をする。あれもこれもやらなくてはと思うから、時間が足りない。コンペという本番のための練習であって、心底楽しんでやっけてはいない。練習しすぎればしすぎたで、かえってスイングが崩れるのではないかと心配になる」
- 5、努力で不足の才能を引き出すことができる。子供たちに教える上で才能は信じないが努力は信じる。
- 6、ゴルフに限らず指導者に必要なのは「信ずる気持」である。……講演会より
- 7、指導される側に必要なのは、素朴さ、素直さ、頑固さの3つである。素直と頑固さは矛盾しているように見えるが、成長には矛盾しているように見える素直さと頑固さが必要である。信じる人を見つけること。色々な人が良かれと思ってアドバイスをしてくれるが、信じる人の言葉だけを素直に信じ頑固に守ることが、結果的に早く成長する秘訣である。……講演会より
- 8、変化の後に進化ありというが、向上のあとに変化が待ち、そして進化が待つ。
- 9、屁理屈をそぎ落としていくと理屈が残り、理屈をそぎ落としていくと理論が残る。
- 10、パッティングのラインを読むということは、知性であり、カップに入れるのは勇気である。この2つを磨け！
- 11、ラウンド中に不安に襲われることは、ままする。その時は、迷わずクラブを短くもて！

★青木 功（千葉県我孫子出身・全米オープン準優勝者）



写真はYahoo検索画像より

- 1、私はいつも自分に4つのことを言い聞かせている。耐えること。やり遂げようとする気迫を失わぬこと。失敗は忘れ、常に次の手を考えること。そして「素早い気分転換」
- 2、ゴルフのクラブを振ることも大切だが、それ以上に頭をどのように使うかだ。
- 3、甘えが大敵。ここまでよくやってきた。なんてちょっとでも自分に妥協したらダメなんだ。
- 4、今にして思うと、盗んで学んだことは忘れることがないんですが、一方的に先輩から教わったものはすぐ忘れます。心のどこかに、忘れたらまた聞けばいい、そんな気持ちが働くんでしょうね。

★石川 遼（埼玉県出身、ゴルフツアー世界最年少優勝）



写真はYahoo検索画像より

- 1、どんな強いプレーヤーに囲まれても、全員にチャンスはある。
- 2、気持ちの強さというのは練習量と練習の質だと思う。
- 3、100%です。結果が悪くてもそれが実力です。僕は調子が悪いとかいいとか思ったことはないんです。それも含めて自分の力だと思っていますから。

★中嶋 常幸（群馬県出身、「AON時代」をきずいた名選手）



写真はYahoo検索画像より

- 1、人に試練はつきもの。すべて成長するための肥やしだ。どん底にドスンと落ちたら出るしかない。
- 2、集中力とは、裏返すと言い訳をしないということ。自分はそれまで言い訳が多かった。
- 3、自分を苦しめるのも楽にするのも、自分なんだ。そう思えるまでには、たくさんの学習や経験が必要だ。

★宮里 藍（沖縄出身、現在アメリカツアーで活躍中）



写真はYahoo検索画像より



- 1、意志あるところに道はある。
- 2、人間って楽な方に行こうとするのですが、『ここで負けても次があるや』って思ったら、もうそれで終わり
- 3、1打というのは運でもあるし、実力でもある。一つひとつ経験することが力になる。
- 4、人間は欲深いから1歩進むと2歩3歩と進みたくなる。私も、もっとももっとって思ってしまうから半歩でも良いから自分のペースで、1歩引いてやっていきたいです。
- 5、限界は自分で作るもの。選手、人間として、やるべきことはいっぱいある。
- 6、どんな試合でもベストをつくしたい。
- 7、自分の故郷を誇りに思いながら、ゴルフを通して感謝の気持ちを表現できたらうれしい。

★岡本 綾子(広島県出身、日本女子ゴルフの基盤を作った。1987年にアメリカ人以外でLPGAツアー賞金女王になった)



写真は
LPGAより

- 1、プロの場合、ボールを打つ技術に差はない。結局は、コースマネジメントの差が勝敗を左右する。
- 2、ゴルフが上手になるには、シンプルに考えること。ボールにフェースを当てて振りぬく。それだけ。
- 3、他人をうらやんだり、妬んだりしますよね。そうすると心が貧しくなる。
- 4、ゴルフという人生そんなに良いことばかりじゃない。だから、ゴルフは面白い。
- 5、練習のつらさとか、1分1秒でも惜しんでボールを打っても成績が上がらない悔しさとか、そういったものも、将来必ず役に立つ。人生のバネになる。今やっていることを後悔してほしくない。時間をかけてやり遂げる気持ちがあれば何とかなるはずだ。

★宮本 留吉（兵庫県生まれ・第1回日本プロゴルフ選手権優勝者）

1、飛距離にこだわる者は、永遠にスコアから見放される。7割の力で得た距離を基本にゲームを組み立てること。これがゴルフの真髄というものよ。

2、勝った負けたは時の運。特にゴルフは料理で言うと日替わりメニューだ。肝心なのは一生懸命やること。目の前の一打に全神経を集中すること。これ以外にない。写真はKOZUGOLFより

